

# 歴史散歩

文——多古町郷土史の会

◆第18話◆



惣躰神社本殿



道路際に建つ鳥居



引き継がれる「御日記」

## 惣躰神社

次浦一五九六番地にある旧次浦村の鎮守で、道路際に建つ重厚な鳥居が目立ちます。伊弉諾、伊弉冉の夫婦神が祭神として祀られており、神社の縁起としては「延暦十六年（七九七）九月十六日次浦の原に遷し奉る」との文書があったと伝えられています。

正月神事として、慶長五年（二六〇〇）から伝統的なしきたりの下「おびしゃ」が行われており、歴代の当番の氏名や、その年の米価・社会変化などが「御日記」として記録されています。

## 宝光山泉光院 永台寺

次浦一五八五番地にある真言宗智山派の寺で、寺伝には「文永七年（一二七〇）法印定恵開山」と記されています。

歴史を感じさせる山門をくぐると、老杉に囲まれた広大な境内に建つ本堂が閑静なたたずまいを見せています。

本堂の屋根替えの際に発見された棟札には「延宝四年（二六七六）建立」とあり、まれに見る建築年のはつきりとした建物です。

境内には私塾の顕彰碑などと並んで、俳句隆盛の時代をしのばせる芭蕉の句碑があります。



芭蕉の句碑



山門の奥に建つ本堂

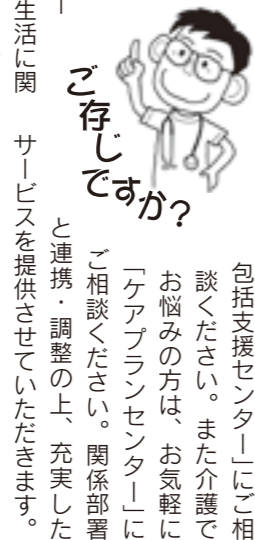


## ケアマネージャーって、ご存じですか？

文/国保多古中央病院 ケアプランセンター

今回はケアプランセンターの紹介です。場所は多古中央病院西棟2階の奥、訪問看護ステーションの隣に位置し、3名のケアマネージャーが皆さんのケアプラン（介護計画）を作成しています。当センターは病院内にあるため、在宅介護を支える病院医師、訪問看護師との連携が図りやすいことが特徴です。

- ① 訪問を受けて利用するサービス
- ② 訪問介護（入浴、看護、リハビリなど）
- ③ 一時的に利用するサービス
- ④ ショートステイ（短期入所）
- ⑤ 自宅での暮らしを支えるサービス
- ⑥ 福祉用具貸与（ベッド、車いすなど）、特定福祉用具販売（入浴・排せつ用具）、住宅改修（手すりの取り付け、段差解消など）



介護も予防が大切です。認知面の低下症状に「あれ？」と思ったら、保健福祉センター内「地域包括支援センター」にご相談ください。また介護でお悩みの方は、お気軽に「ケアプランセンター」にご相談ください。関係部署と連携・調整の上、充実したサービスを提供させていただきます。

- ① 保健福祉センターへ申請する。
  - ② 介護認定を受ける。（認定調査士主治医の意見書）
  - ③ 審査・判定
  - ④ 要介護1～5となった方へは、介護保険証（緑色）が交付されます。
- さあここからケアマネージャーの出番です。契約後、生活に関する意向を伺い、プラン作成後にサービス開始です。サービスの利用状況やサービス計画書の確認のため、月に1回以上ご自宅に訪問させていただきます。利用料は、介護度などによって変わりますが、利用者負担は原則1割です。
- 「在宅介護サービスの種類は…」
- ① 通所して利用するサービス
  - ② デイサービス（介護）、デイケア（リハビリ）



## 追跡レポート! ——この職業・この人たちの24時間



### 誰もが安心して迎えられる老後を デイケア・デイサービスセンターの一日

紹介者：石毛仁さん（多古町デイケア・デイサービスセンター）

地域に住む高齢者の自立を支援する当センターでは、入浴やリハビリ、食事やレクリエーションなどのサービスを提供しています。リハビリを行いたい方、一人住まいや寝たきりの方等で、介護認定「要支援」「要介護」の方が対象となります。

月曜から金曜までの午前9時から午後4時まで、看護師や介護士らが協力して、おおむね一日平均20人の利用者を受け入れています。朝8時30分のミーティング後、利用者を自宅まで迎えに行きます。9時ごろセンターに到着すると、まずは健康チェック。その日の健康状態を確認し、デイサービス（通所介護）利用者は入浴へ、デイケア（リハビリ）利用者は多古中央病院リハビリ科にて機能回復訓練、そして入浴となります。また、入浴を希望しない方は、スタッフと一緒に余暇活動に取

り組みます。何気ない会話や動作、わずかな体調変化の兆しを見逃さないよう注意を払います。

昼食は、個人の症状に合わせて食材や調理方法に配慮しています。自力摂取を基本とし、自分で食べる喜びを感じてもらえるよう、特殊な食器類を使用するなど、用具の工夫もしています。食事が済むと昼寝などの休憩を挟み、オリジナルの体操やレクリエーション。今年から敷地内に畑を作り、野菜や花の栽培も始めました。その後おやつを食べ、午後4時ごろに利用者を自宅まで送り届けます。送迎から戻ったら施設内を清掃し、反省点や改善点、申し送り事項を確認して一日が終了します。

利用者にとって何が必要なのか。医療・福祉の専門が手を携え、介護負担の軽減はもちろん、利用者本位のサービスを提供できるよう、スタッフ一同努力していきたいと思



取材協力：多古町デイケア・デイサービスセンター